

## 会 議 録

### 1 会議名

令和6年度 第5回和田区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

自主的な審議

（1）和田区の地域課題や地域活性化に向けたアイデアについて（公開）

### 3 開催日時

令和6年10月16日（水） 午後6時30分から午後7時45分まで

### 4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

### 5 傍聴人の数

1人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山三枝子（会長）、横田朋巳（副会長）  
泉 幸雄、近藤 浩、角谷紀栄子、高橋武弘、西片正夫、西田良子、  
牧田 恵、山岸幸三（欠席4人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、小池副所長、石黒係長

### 8 発言の内容

#### 【石黒係長】

- ・ 阿部委員、近藤美絵子委員、齊藤委員、渡邊委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

#### 【秋山会長】

- ・ 会議録の確認：角谷委員に依頼

— 次第2 自主的な審議（1）和田区の地域課題や地域活性化に向けたアイデアについて —

【秋山会長】

次第2 自主的な審議（1）和田区の地域課題や地域活性化に向けたアイデアについてに入る。

前回、宿題のアイデアシートを提出していただいて、皆さんからの意見や提案を黒板に書き出してさらに意見を求め、それを事務局で整理したのが資料No.1である。たくさん意見をいただいたが、まだまだあるかと思っている。今日は視覚的にイメージしやすいように大きな地図を用意し、関係する場所に付せんを貼って落とし込んでみたりしたのだが、その意図について説明する。

私は和田区に住んで33年ほどになるが、なかなか和田区全体を見渡すことができず、これまでの話し合いの中で矢代川を境に和田小学校地域と大和小学校地域が分断されているので、そこのところをもう少し連携ができたかどうかというような発言があった。これを受けて、どんな感じなのか自分自身で知りたくて、大きな地図を用意し、まず矢代川がどんなふうになっているかということで色を塗った。ほかに幹線道路、国道18号と上越大通り、山麓線を塗って、そうしたら関川はちょうど板倉区との境目になっていることに気付いた。若干、和田区の方に入っている部分もあるということで、やはり矢代川というのが大きい存在であるということ、また地図にはまだ落としていないが、恐らく和田土地改良区が管轄する用水が、田んぼに関して大きな存在であると感じた。

この地図を作りながら、随分前に各世帯に配られた「和田のあゆみ」という冊子を読ませていただき、その中で一番ボリュームがあるのが50数ページに亘る土地改良についての記載である。恐らくそれも現在にも影響してくる部分だろうと思っている。

皆さんから出された意見をどのように整理したらよいかということで、事務局では、資料No.1のように分類、地域防災とか観光スポットというふうにアイデアを整理していただいた。私は地図を見ながら、例えば上越妙高駅周辺には釜蓋遺跡の案

内板について貼る、ポプラ並木のことも随分出されたのでポプラ並木の場所に貼る。それから、近藤美絵子委員からは楽しく歩ける遊歩道の整備ということを提案されたので大和4丁目につける。あと、横田副会長から提案のあった大きな田んぼで田んぼアートについては田んぼだらけだったので適当に貼ってみた。岡原の交差点の意見も貼った。また場所を特定するものではない意見、和田区全体に関わる意見は別の紙にまとめた。

和田区を十分に理解していらっしゃる委員も多いかと思うが、よく知らない委員もいるので、今日は地図に落とし込んだものなどを見ながらもう少し皆さんから意見をいただいて内容を深めていきたい。いろんな発言をいただきながら、少しずつ前に進めていけたらと思っている。私たちの任期は4年で既に1年目が半分くらい過ぎてしまっている。この先どのように話し合いを続けてどこを目指していくのかということは私自身まだわかっておらず、皆さんも同じかと思う。

皆さんからいただいた意見の中で一番印象深かったのが和田区の一体感を醸成するような取組があったらいいということで、具体的には町内をまたいだ交流の推進、和田区の運動会にイベントの要素を加えて参加して楽しめるお祭りのようにしたらどうか、各町内の自慢できるお宝や伝統行事を和田区全体で共有したらどうか、和田区の広域的なボランティアグループを設立して小・中学校を支援したらどうか、そのほか放課後の勉強室や空き家改修などいろいろな提案があった。今挙げたものをやっていると、和田区の一体感が醸成されるのではないかとということで地図とは別の紙にまとめた。

もう一つは、情報収集。現段階では委員の皆さんから意見を出していただいているが、地域には多様な団体がある中で、住民へのアンケートや各種団体との意見交換をして声を拾うのが大事でないかという、情報収集に関しての意見も幾つか挙がった。

あとは、西田委員からの防災力の推進、防災士会の和田支部を設立したいという提案、阿部委員からのもっと充実した高齢者支援の工夫があったらどうかという提案があった。

まとめると、市からの諮問に対して答申するのが一番大事な役割だが、今現在で

諮問はないので、極論を言えば諮問があるまで会議も何もしないということもひとつである。しかし、せつかくなので和田区がもう少しみんなが住んで楽しいなと思える地域にしていくために、みなさんから出していただいた意見の実現に向けて考えていきたい。

私たちは実働部隊ではないからどこにどう働きかけていったら具体的になるか。例えば牧田委員から体協の運動会にみんなが楽しく参加できるようになればという意見があったが、今体協の運営自体が大変な状況であるところに「もっと楽しくやったらどうですか」と私たちが余計なことを言っても恐らくはじかれるだろう。そのように他団体との連携の中でいろいろな事情が出てくると思われるため、アイデアの実現に向けたマトリックスを考えてみた。

大合併の前に安塚町に頼まれて地域に半年間通って、全町型NPO法人というのだが、安塚で実働するチームを作るためにやった作業と似たような作り込みである。あの時は町があったので、町のソフト事業を概ね全部分解して付せんに貼って、集落がやること、町内会がやること、全町型NPO法人がやること、行政がやることに振り分けて、さらに、すごく急ぐもの、少しなら待てる、将来できたらよいのような時間軸を置いて事業を貼り付けていった。集落や町内会、行政にお願いすることは多いが、新しくできる団体にやってもらいたい事業は何かというものを浮かび上がらせて、団体を作ってそこにみんなが知恵を出して、今18年目くらいになり、市からの受託も含めて年間4,000万円くらいの事業をやるような団体になっている。合併前上越市の15区にはそのような仕組みはなく、無理やり仕切られた和田区というくくりなので、そこまでせっぱ詰まった課題等はないが、今回委員の皆さんから出された意見や提案について、例えば体協の運動会をどこに振ったら実現可能かのような、そのような考え方でまとめていくやり方もあると思う。地域の団体と一緒に地域協議会も関わって、令和7年度あたりの時期かなというように整理していくと、これからの4年間の中で私たちが目指すあたりのゴールが見えてくると思う。この4年、その次の4年、将来みたいな形で時間軸を設定してみた。

今日は指名もしないので、ざっくばらんに意見をいただきたい。

【牧田委員】

今秋山会長が私が提案した運動会の件を例に挙げられたので話をしたい。今回地域協議会委員になって課題をいただいて、和田区の一体感について考えた。新しいものを作るのは大変だろうということで、私がかすかに知っていたのが運動会だったことから、それが今どれほど大変なことになっているかは全然わからないが、それを母体にして、盛り上げていくことができないかと考えた。どこの時期にどうと具体的には考えていないが、新しいものを作るよりは、任期の4年の間にできるかなという意図もあってその意見を出させていただいた。

きっと私だけではなく他の皆さんもそういった何かいろいろな軸とか思いとかもあって出されたと思うので、そういったところを含めて秋山会長がおっしゃる、何年を目指すとかどこを目指すかということを考えていけばよいのかと思った。

**【秋山会長】**

意外と時期を切らないと物事はできないと思う。私はやるのが結構前のめりだから「そんなのできないよ」とブレーキかけていただいてよい。

泉委員、東西の一体感という言葉を示されたがどうか。

**【泉委員】**

和田校区は体協を脱退する町内も多く、今年の状態を見ても春のソフトバレーボール、秋の運動会そのものが無くなってきている。体協の運営自体が危うくなってきている状態なので、その辺をどう立て直すかというところから考えないと大変だと思う。

昔の和田区の運動会というとすごかった。100メートル、リレー、マラソン、俵上げ競争とか盛大な運動会だった。だんだん走ってはいけないとか、いろいろ言われるようになった。

**【牧田委員】**

そういった現状を教えていただくのがこの会議の中の一つかと思うので、それはすごくありがたい意見である。

**【泉委員】**

今体協が孤立している。

**【横田副会長】**

今の話と別の話だが、和田小学校の文化祭が昨年から午前中で終わり午後からPTA主催で子どもたちの発表会をやっている。やりたい子たちが好きなように、いろいろなことをやって、会場にもキッチンカーを呼んで地域の方にも来てもらえればということをやっている。牧田委員が言われたように運動会を盛り上げようというよりもみんなが集まる場を今あるもので作れないかというところだと思う。

泉委員が言われたように、体協との連携が難しそうな状況を踏まえると、では、どこの団体がやるのかというのを明確にすることが正しいのか、それともやってくれるところがあればと募集をかけるのがよいのか、これから先の話だと思うが、今はあくまでこういうことをやりたいというところで、アバウトでもよいし、こんなことできる訳が無いけどやってみたいという話をしてもらったほうが進めやすいのかと思っている。

#### 【西片委員】

島田は和田体協からごたごたがあって抜けさせてもらった。それは、昔から延々と続いている島田の町内の中の体協のシステムに問題があって、町内には8班あって各班から体協の役員を1人出なさいといけないということできずとやってきたが、以前は、2世代同居で、結構若い人が出られたが、高齢化というか核家族になったら70代の人しかいないという家庭がほとんどで、そういった方が役員に出る。運動会の人選にあたっては、若い人たちが出ているから子どももいないということでもうやめてくれということで体協を抜けた。そうしたら、両町内も抜けた。他にも抜きたいという町内もあるということで、はっきり言ってあまり皆さんやりたくないのだろうなと感じている。

私の娘に小学生の子どもがいて、「バレーの練習に出てください」と言われて、付き合いで参加するが、下の子どもの子守りに私の妻が行かなければならず、半強制というのはどうなのかなとも思う。そのようにやっているから、結局、長続きしないということに繋がっていくのではないかな。

#### 【泉委員】

西片委員の所と和田体協全体とは違う。大和校区は一生懸命やっている。運動会が終わって各町内で懇親会をやる。大変盛んにやられて応援団も一生懸命やってい

る。和田体協全体にとらえるところとちょっと問題があると思う。

**【牧田委員】**

体協のこともよく知らなかったし現在の状況のこともよく知らない中で、現段階で和田区としてやっていることとして、和田の運動会しか思いつかなかった。あるものを生かして何かができるれば一番実現しやすいという小さな考えだったのに、たくさんの意見をいただいて本当にありがたいが、私の小さな発想にとらわれずよい方向に進めていただければ幸いである。

**【西片委員】**

うまくまとめられないが、苦痛に思っている人もいるということだけご承知おき願いたい。

**【角谷委員】**

秋山会長がおっしゃったように、どこの方向を目指していけばよいかというのは、やはり大事だと思うが、今年は1年目だから、ざっくばらんでよいのかなという感じもする。

また運動会の話になるが、例えばパン食い競争の出場枠は60歳以上が何人いるから何人出てくれ、70歳以上は何人出てくれと人数が決まっていて苦痛である。私は膝が痛い中、義務だと思って出場するが、果たしてそういうことが必要なのか心の中では疑問に思っている。

先日、大和地区の防災の会議で大和地区の人口の年齢構成の資料を見た。市内において大和地区は若い人の割合が多いことが分かった。恐らく和田地区とは異なるだろう。大和地区は若い人と高齢者の割合が低い。上越市全体ではどこも高齢者が多いが、大和は特に若い方が多い。私の近所でも小学生が10人もいる。毎日自転車で走り回って危ないくらいだが、恐らく和田地区のほうは子どもがあまりいないのではないかな。

それで、市内では小学校の統合が進む中、どこに小学校を作るという問題ではなく各村に今年何人子どもが生まれたかということが大事なのである。こっちの人数が多いとかそういう問題ではなく、場所の問題でもないと思っている。はっきり言って大和だって6年経てば、子どもの数が減っていくかもしれない。そうすると黒

田小学校や南本町小学校と統合という話も10年経てば出てくると思っている。それほどの少子化だと感じている。統合というとき必ずこっちの名前を出すとか、こっちを残すとか、そのような感じで子どものことがあまり考えられていないのではないかと感じており、例えばここ辺り全体で、南本町小学校なども全部統合して新しい小学校を置くなど、未来につなげるような、名前にこだわらないような方向性があればよいと常々思っている。このようなことは一体どこに言えばよいのか。

資料No.1の地域の宝について、私は大和神社も行ったことがないが、清水があったとか、水がわき出たとか説明の看板があるので、みんなで見て歩いてもよいのではないか。そういうのを委員で見て歩くのもよいと思った。

個人で考えているのは、和田区全体に遊歩道が整備されるとよいということで、1周5キロとか、高齢者も若者も、自転車も通れるようなものがあれば、一体感にもつながるかと思う。費用を考えずに言っているので無視してかまわないが、夢みたいなことを言って何々したいなあということであれば、例えば田んぼアートやポプラ並木でもよいが、遊歩道みたいなものを望む。しかし、そんなこと言えば、道路はどうするとか、自転車道路をどうするとなるが、あるといいなと思っている。

#### 【近藤浩委員】

皆さん問題意識が高すぎてついていけないのだが、会長が作られた一覧表と市からまとめていただいたアイデアの一覧は当然リンクしていると思うが、要は進め方をどうするかが一番の問題だと思う。例えばいきなりこれとこれという感じで全部やるのではなくて、第1段階として有力なものを絞って、第2段階としてその絞った中でさらにそぎ落として最終的に四つなり五つなり、さらに深掘りしていくというような形も一つのやり方ではないかと思う。

先ほどは運動会の話で盛り上がったが、今度ファミリーバレー、来月は綱引きで自分の町内がホスト町内になっているのでその後のおもてなしを役員がしなくてはいけないのだが、例えば今の運動会の話であれば、その現状把握から地域の実態を集めてどうしたらよいのだという事実の積み重ねというものを我々で共通認識として持たないと話は進まないと思う。Aさんはこういう感じだ、Bさんはこういう感じだという、単なる自分の意見とか感想だけを言っていたら全然その次に進ま



ないので、とにかく事実の積み重ねで皆さんとの共通認識を持たなくてはいけない。少し話が戻るが、どんどん話を進めていって最終候補を時間をかけて絞ったらどうか。

#### 【秋山会長】

近藤浩委員の話に関連するが、私もこういう作業をしながら思ったのは、それぞれの持っている関心はいろいろで全体で動いていくのは大変なので、委員の中で自分がここをすごく知りたいとか関心を持っているところで、1人では難しいけれども2人とか3人のグループで1、2か月かけて関連する団体に聞き取りをし、それを持ち寄って、協議会で発表するというようなやり方ができたら、会長は楽でいいなと思った。

地域のお宝も7か所あると聞いて地図に落とそうかと思ったが、それができなかった。それも私がやるよりも地域の宝を委員で巡りたかったら、そこに関心がある何人かで担当していただいて、その計画立案をしていただくとよいと思った。深掘りするためには、何かをそれぞれが担っていただいてやっていくと早いし共通認識になるかなというふうに思ったのだがいかがか。

前回、ポプラ並木の話が随分出されて、市は隆起した根を掘り返して鉄板を入れて広がらないように一生懸命整備しているという話を伺ったように思うが。

#### 【高橋委員】

ポプラ並木については、前回私が話をさせていただいた。家からその道路へ出るときに見通しが悪くて実際に1回事故を起こしている。そのようなこともあってずっと関心を持っており、地元でも全部切っ飛ばすというくらいの勢いで言っている人も何人かいる。入口の角にあるお宅だが、自分の家の前には絶対植えさせないと言い切って完全にそこに植えさせなかったというお宅もある。それほど高さが伸びる木ではないが、それでも夏場前後になると車の目の高さぐらいまで枝が伸びてくるので、近所の方が自分で刈ったりしているようだ。

気になっているのは、下枝とその脇芽、幹の上の頭打ちをしても数年たてばまた元に戻ってしまうということである。一昨年にはそれで1回火災も発生している。電線と触れて火災騒ぎになってもめた時期があった。自分としては1本ずつ間引き

てもらえればありがたいが、全部切るとなればあれだけの本数だから相当なお金もかかると思う。逆に、残してほしいと言っている人もいることはいる。数年前から言っている話だが、話が見えてこないのがイライラしている。

いずれにせよ歩道がでこぼこしてきてしまうということとその歩道からまた芽が出てくるという問題があって、それだけは何とかしてほしいと思っている。自分でそれなりの対策を持っているかというを持っていないので、話をしてあとは預けるしかないと思っている。

**【秋山会長】**

車で通りすがりに眺めているのとは全然違うものだと思う。私もすごくひどい時を見ているので、それから比べたら今は車からだとしてすごく歩道も綺麗になっているという印象があった。

**【高橋委員】**

根が張ってくるとアスファルトがめくれ、自転車で通っていると結構でこぼこする。ひどいものは歩道を通り越して、畑の中とか田んぼの畔のところまで芽が出てくる状態である

**【秋山会長】**

ただ通り過ぎる人にとっては景観としてはとてもよい。

**【高橋委員】**

1番嫌なのは幹の脇からも枝が出ることで、あれが出るともうほとんど見通しが利かない。

**【秋山会長】**

ポプラ並木に関しても、高橋委員を中心にとか、そのような対応はいろいろ挙げていけるような気がする。協議会の場で話題になって変わっていく方向が少しでも見えたら嬉しい。岡原の交差点の草刈や清掃。国道18号線から上越妙高駅に入る大事な道なので、私も板倉に抜けていく時にそこで止まることが多いので、歩道に雑草がかなりはびこったりしているのを見ると、こういうところは誰が綺麗にするのかなと思いながら通り過ぎている。

**【西片委員】**

歩道にたまった砂や土が何年もそのままになっていたのも、そこから草が出てくる。去年は市にお願いして交差点からこどもの家まで取ってもらったが、そこから先はまたその次になるという。歩道の割れ目からも草が出る。そこも除草剤をまいたりして、孫が1年生になったので少しでも露があると靴が濡れてしまうということで、ボランティアでできる限り手はかけているが今までがちょっと酷すぎる。

**【秋山会長】**

議員をやっていた時に、いろいろな道路の要望を受けて現地を見たりするが、地域の人達がボランティアで除草等をやっている綺麗な歩道と何もやっていない所は草が生い茂って大きな差があるものだと思った。

議員の人たちが新井柿崎線を毎年視察していたが、地域の要望を受けて歩道を広げても、瞬間的には地元の人には喜んでくれるが草刈一つしないという。何年か経って視察に行くとそのような言葉がよく出ていた。歩道の草刈は基本そうなのだろう。

**【角谷委員】**

この辺りは桜が綺麗に咲く。砂利道だと思うが本当に美しい。

**【高橋委員】**

桜の時期はよいが、桜の時期を過ぎると雑草が伸びてくる。

**【角谷委員】**

誰が草を刈るのか。

**【高橋委員】**

河川の関係の道路ですから。

**【山岸委員】**

国だろう。年1回程度行っているのだろう。

**【泉委員】**

あれも団地が植えたとか、河川の木ではないという。

**【秋山会長】**

大和4丁目は町内で植えて、冬に除雪の邪魔になってそれこそ切っ飛ばすという声もある。桜が綺麗なのはほんの一瞬で、虫がついたりアメシロの駆除などお金がかかる木だなと思っている。

今は内輪で意見を出しているが、先ほどの運動会であれば、体協の話も出たりしたが、他の団体からどのように意見交換なり情報をもらえばよいか。平成22年に私が初めて地域協議会の委員になった、地域協議会制度ができてすぐだと思うが、和田区地域協議会だよりの第1号の裏に和田区のいろいろな団体を訪ねて載せた記事がたまたまあったのでコピーをお渡しする。和田地区振興協議会という大きなくくりの中に和田地区町内会長会と和田地区農家組合長会、和田地区農政対策協議会、和田地区商工振興会と和田土地改良区が囲われているという図だが、それ以外にあちこちで聞いた団体を下にリストアップしてみた。この団体は今もう無いとか、新しくこんな団体があるという情報をいただきたい。和田区にどんな団体があるのか私自身まだつかめていない。なお、ここには二水クラブが漏れている。

泉委員、和田地区振興協議会とその中に入っている五つの団体はまだあるか。

【泉委員】

和田地区振興協議会はやめたのではないか。

【山岸委員】

和田地区振興協議会は休眠である。

【泉委員】

商工振興会もほぼ休眠である。他のところは全部あるが、商工振興会については、コンビニとかが増えている一方、個人でお店をやっている人がほぼいなくなった。コンビニは恐らく商工振興会には入らないと思う。私も入っていたが、やめたという話で全然わからなかった。

【泉委員】

仲間がいなくなって会長が動けなくなったようだ。

【秋山会長】

この間の納涼会をさせていただいたガンギブリューイングみたいな新しい事業所が増えると復活するかもしれない。

その他の農家組合長会とか農業に関するところや町内会長会はもちろんあるが、商工振興会が休眠。これらを全部くくっている地区振興協議会が休会というのと、それぞれ町内会長会なら町内会長会で動いているということか。

**【西片委員】**

振興協議会というのは、この上越妙高駅ができる時にできたものである。ある程度形を作ったから休眠という形になったと聞いている。

**【泉委員】**

この駅を作るための準備をするために振興協議会ができた。それで、毎年何かをやってきた。それから振興協議会の中で、駅前開発を含めていろいろと政策というか議論もいっぱいした。それから、この辺全体をどういうふうにするのかという、今市がやっているIT環境をベースにした開発も提起をしてきた。ある程度ものができて、それを上越市が推進してくれればよいということで、新たに提案することが無くなり休眠に入った。各団体もそれぞれいろいろ事情があって休眠に入った。市もこの辺の開発のプロジェクトをどうするかという話があって、それはここからも提起をした問題で、一応市も理解したということでそういうものも含めてある程度目安がついたということで当面それが実行できるまで、新たな問題を提起できるまで休もうということである。

**【秋山会長】**

大事な役割を担っていただいていたものと思う。

**【泉委員】**

自負している。

**【秋山会長】**

随分時間もかけられたことだろう。

**【泉委員】**

駅を作る準備段階の時からである。

**【秋山会長】**

下の方に、その他知っている組織をリストアップした。消防は和田分団と大和消防協議会というのがメモにあった。

**【西片委員】**

消防は一緒になり和田消防部となった。

**【横田副会長】**

和田分団のほうが大きいので、和田分団のほうが上である。この消防協議会はおそらく消防OBと大和の方の後援会的なスタンスのところだったと思う。和田分団は昔から和田分団である。私は分団長をやっていた。

【泉委員】

来年から和田分団はなくなって和田消防部になる。

【西片委員】

大和と和田が一緒になる。大和消防部と和田消防部になる。

【横田副会長】

大和と和田は今までも一緒だったと思うが。

【泉委員】

大和消防部と和田消防部になる。和田分団はなくなる。

【横田副会長】

今まだ現状では和田分団はあるのか。

【泉委員】

来年からの話である。

【秋山会長】

そういう事情だということはわかった。

和田地区河川環境整備協議会というのは、年1回くらい矢代川を歩いている姿を見たりしたがそれだろうか。私もよくわからない。

【泉委員】

これも一番上の和田地区振興協議会と同じメンバーである。

【西片委員】

町内会長会に含まれる。

【泉委員】

町内会長会と一応別だが、同じメンバーである。町内会長がこの河川協議会のメンバーになっている。

【秋山会長】

充て職みたいな感じなのか。

**【泉委員】**

町内会長会と環境整備協議会という名前は別だが兼務である。

**【秋山会長】**

その次の上越市南部防犯協会はどうか。

**【泉委員】**

防犯協会は昔の交番単位である。昔島田に交番があった。大和地区は南本町1丁目に交番があった。南本町の交番は高田駅までが範囲である。あの辺までが全部グループである。今の防犯協会はあまり熱心に活動していない。交番が駅前だけになってしまったので、今私たちは何となく防犯協会をやっているが、交番との連携が取れていない状態である。

**【秋山会長】**

交通安全協会は、西部交通安全協会と南部交通安全協会によいか。

**【近藤浩委員】**

西部は大和地区で、南部は和田地区である。

**【山岸委員】**

西部に対して東部ではないか。これは東部が和田地区である。

**【秋山会長】**

青少協の正式名称は何か。

**【西田委員】**

青少年育成協議会である。

**【秋山会長】**

二水クラブも町内会長会が基にあるのか。

**【泉委員】**

町内会長会からも何万円か援助してもらっている。

**【秋山会長】**

先日、三郷の地域協議会の女性委員と意見交換をする場があって、三郷には団体がいろいろあるのか聞いたところ、結構あるようなことをおっしゃっていた。すごく人口が少ない地域ではあるが活発に動いていらっしゃる様子で、和田区では自主

的な活動団体、自分たちで財源を持って運営しているような、いろいろな分野の団体をあまり見かけたことがない。町内会長会が総元締めとして機能しているということだろう。

先ほど近藤浩委員から整理していく方向性についていろいろ提案をいただいたが、もうしばらく迷路にはまったような会議でもよいか。

**【角谷委員】**

秋山会長がおっしゃったように 1 年目だからグループに分けてもよいかと思う。提案がカットされようが、もちろん自分たちの意見が全部通らないということではないので、自由に興味があることを調べてもよいのではないか。

**【秋山会長】**

それぞれの委員の皆さんが興味のあるところをグループに分かれて進めていただけると、情報としてもボリュームが出るかと思う。例えば私が町内会長会に伺ってそれぞれの団体の様子とか、町内会長会の皆さんにとって地域協議会がどのように見えているのかも含めてヒアリングしようとした時に、1 人で行くのも気が引ける。

**【角谷委員】**

今会長はどなたか。

**【泉委員】**

島田上新田の町内会長である。

**【秋山会長】**

意見交換は過去にもやられていたと聞いた。

**【泉委員】**

過去にやったのは、和田区を盛り立てよう、何かイベントをしようという計画を立てた。和田だから雪だろうと。失敗しましたが。

そのときに、和田区の活性化だからみんなの団体に集まってもらって参加してもらってやろうではないかということで全部声をかけた。各団体から 20 名くらい、協議会委員と合わせて 30 名程募った。しかし、見事に失敗した。誰も参加や協力をしてくれなかった。



【秋山会長】

事業はやられたのか。

【泉委員】

協議会委員が10人くらいでやった。

【秋山会長】

すごいチャレンジだったのだと思う。今はもっともっと状況が厳しくなっているというふうに思う。

【泉委員】

振興協議会で雪灯ろうもやったりした。みんなで力を合わせてやるのは大変難しい。

【秋山会長】

今そういう時代ではないと言われる。

【泉委員】

大変なのはPTAが動かない。PTAの役員のなり手が少ないことは有名だが、こういう対外的なものに顔を出さない人が多い。

【秋山会長】

子どもがたくさんいる町内でもさいの神を子ども会でやれないということで町内会に返すところがあると聞く。

【泉委員】

親が嫌なのだ。だから何をやっても年寄りだけである。

【男性委員】

若い者にやらせてもわからないことばかりだから。

【西片委員】

体協から抜けたと言ったら、若い者はわずらわしさがなくなってよかったと言っている。そういうこともある。何かやるのが嫌なのだと思う。

【泉委員】

私の町内は3人しか小学生がいらないが伝統を絶やしてはいけないと思って、無理やりやっている。難しい社会である。

**【近藤浩委員】**

否定的な意見ばかりでありあまりよくないのではないか。

**【泉委員】**

こういう実態をこのメンバーで盛り返すことができれば、それはすごく成功なのだと思う。

**【西片委員】**

本来は、市のほうでこういう提案がされて、それで私たち委員がそれについてどうかということであれば、結構議論はできるのだろうが、はっきり言って、みんな何不自由なく暮らしている。特に何が不便だということもなく、そのような中で問題を出してくださいと言われても、なかなか出てこない。だから、市から提案があれば、それについて議論できるし、実現性も出てくるのかなと思う。

**【秋山会長】**

何と言っても自主的審議事項である。確認したいことが二つある。

一つは、今回の地図等を作ったり和田区のことを知るために公民館で「和田のあゆみ」を借りて読んだりしたが、そういうことを一緒に学んでもよいという委員がいれば、どなたか講師を招いてグループで勉強する場を何回か設けようかと考えている。協議会とは別の日を設定して集まるという方法もあるし、協議会の前半か後半に30分から40分程度、和田区の地域協議会委員をやるなら最低限知っておいてほしいことを話していただく場を設けてもよい。和田地区公民館の館長に講師について相談したところ、「和田のあゆみ」の編集委員で大和3丁目の前町内会長が歴史に関してとても詳しいという。先日、ご自宅を訪ねて講師になってもらうことが可能か伺ったところ、して下さるといってお話まではいただいたが、やり方などを協議会で話し合ったうえで改めて相談させてもらうことにした。特に和田区のことをよく知っていらっしゃる委員は、今更そんな勉強は必要ないというのであれば、本当に学びたいという数人だけでそのような勉強会を任意で予定したらどうかなと思うがいかがか。

**【角谷委員】**

インプットしないとアウトプットもできないので賛成である。

【近藤浩委員】

60歳まで一切町内については関わりがなかったので賛成である。

【秋山会長】

時間を割かないでよいのは地域協議会だが、そういうことが可能か確認する。

【近藤浩委員】

共通認識というか、共通の知識というのは土台を持っていないと話が進まないと思う。もちろんベテランの方でそんな話はいらぬという委員はいらっしやると思うが私は聞きたい。

【秋山会長】

泉委員はいかがか。

【泉委員】

「和田のあゆみ」の編集委員の方は、和田公民館の主催事業で講師をやってらっしやると思う。体調面は大丈夫か。

【秋山会長】

少人数の勉強会だとお話して、やるとすれば公民館だが大丈夫かと伺ったら、大丈夫とおっしゃっていた。

【近藤浩委員】

協議会の場でよい。

【秋山会長】

歴史を深く学ぶというよりは本当にチラッと知りたいということなので、冬場の地域協議会で何度かお話を伺うというような形で事務局と話を進めさせていただきたいと思う。

お話しいただきたい内容はあるか。用水の話が「和田のあゆみ」の中ではすごいボリュームで書いてあるが、用水は土地改良なのか。

【泉委員】

和田土地改良区の事務局長も講師に適任だが、どこへ流れているか程度であれば私でもわかる。土地改良区は昔の和田村だから。

【秋山会長】

ぜひその辺は1コマお願いしたい。

もう一つは、自分が関心を持っているところを進めていくために、全体で一つのテーマに向かうのではなくグループに分かれて何かを担当しながら進めるという方向が一つ、二つあってもよいかと思う。具体的には、地域の宝7か所を調べて行きたい人で回るというようなことを検討してくださる委員がいるとよいが、角谷委員いかがか。

【角谷委員】

自分が提案したのでやってもよい。

【近藤浩委員】

今日この場で具体的に決めるのは早いと思う。

【秋山会長】

適切なアドバイスである。

以上で、次第2 自主的な審議(1)和田区の地域課題や地域活性化に向けたアイデアについてを終了する。

### — 次第3 事務連絡 —

【秋山会長】

次第3 事務連絡 に入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

・今後の地域協議会の日程連絡

令和6年度 第6回地域協議会：11月20日(水) 18:30から

第7回地域協議会：12月18日(水) 18:30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

皆さんのお手元に、「充実した話し合いに向けた研修テキスト」というものをお配りした。委員になって半年が経過し何回か会議があった中で、よりよい話し合いに向けて市がテキストを作成したものである。時間のある時にご覧いただきたい。

【秋山会長】

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。